

事前説明時における
委員からの確認事項等とその対応

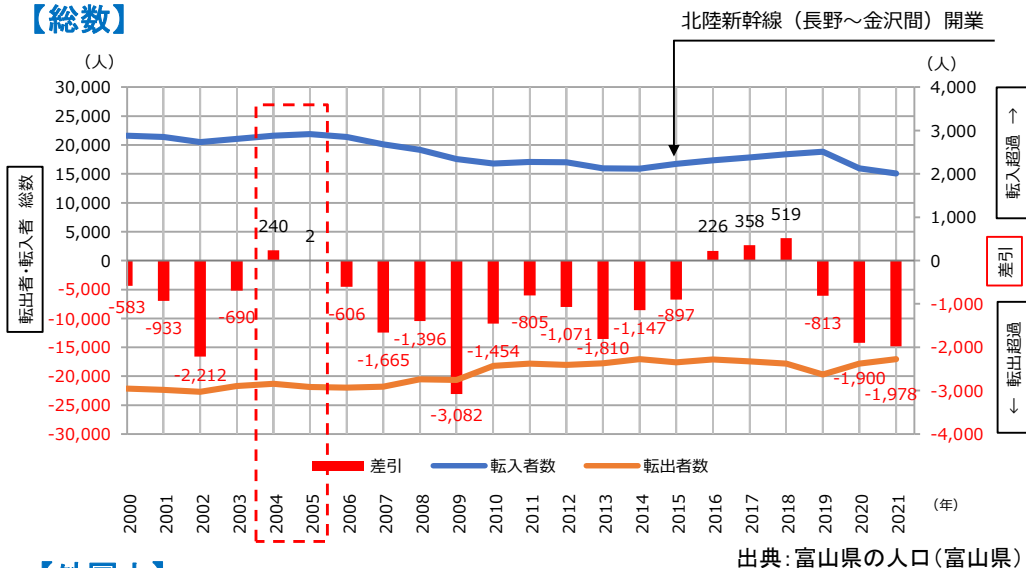
対象ページ:P3

Q. 富山県の2004年～2005年の転入超過に転じている理由は？

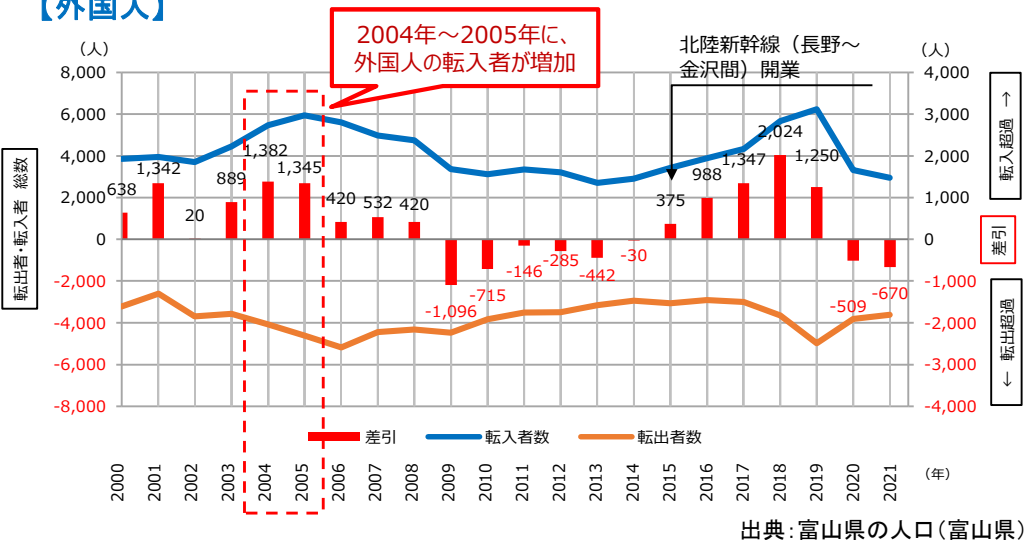
A. 富山県において、2004年～2005年の外国人の転入者が比較的多く、転入超過に転じている。

●富山県の県外移動者の推移

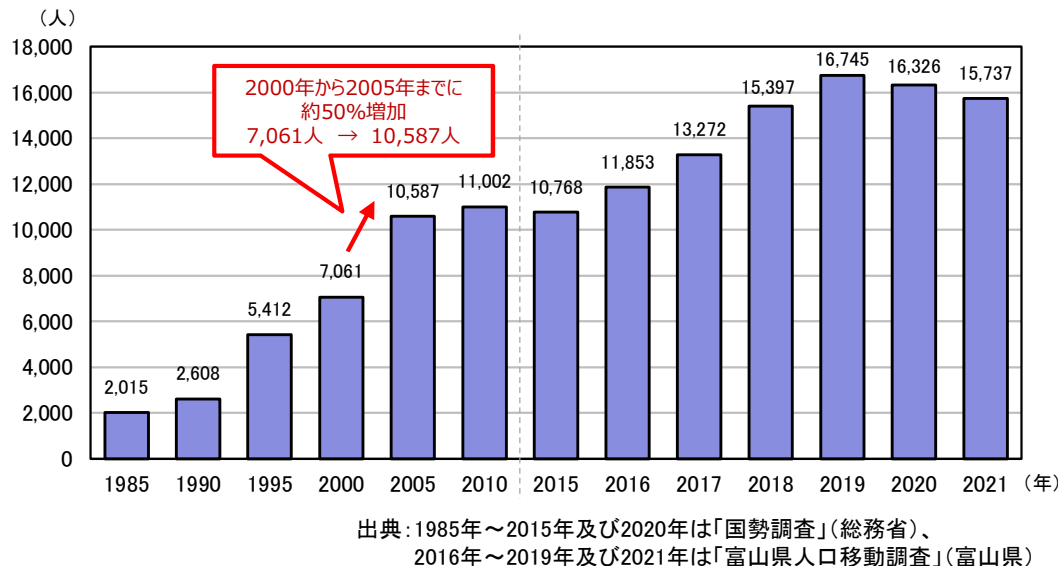
【総数】



【外国人】



●富山県の外国人人口の推移



●富山県大連事務所を開設（2004年4月）

- ・富山県は2004年4月に海外駐在事務所の富山県大連事務所を開設。
- ・外国人人口の増加の背景として、このような海外との交流を拡大する動きがあった。

富山県大連事務所の業務内容

企業等への支援

- 中国への投資を計画している企業に対する情報提供や相談業務
- 税務、会計、法律等における中国国内の専門家の紹介
- 中国から富山県への企業誘致活動

各種交流事業への支援

- 学術研究交流、文化交流、環境協力に関する情報提供や連絡調整
- 富山県への留学希望者に対する情報提供

人的ネットワークの構築

- 留学や研修で富山県に滞在経験のある中国人で構成する「富山ファン倶楽部」を設置

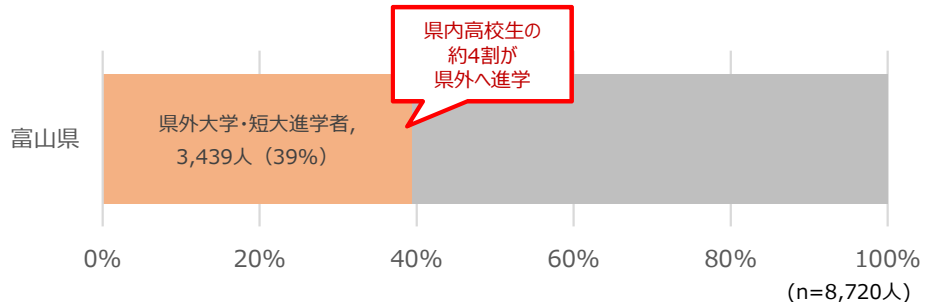
出典：県広報とやま2004年6月号(富山県)

対象ページ:P4

Q. 20~24歳の県外流出が多いが原因は？大学進学なのか就職なのか、など内訳がわかるか？

A. 富山県と福井県は、高校卒業時点で卒業生の約4~5割が県外へ流出していることから、20~24歳の県外流出が多い理由は大学進学時に住民票を移していないことが一因と考えられる。石川県は、大学卒業時に約6割が県外に就職しており、20~24歳の県外流出が多い理由は大学卒業時の就職と考えられる。

■ 県内高校生の県外大学・短大進学状況（富山県）



・なお、富山県の令和2年10月1日~令和3年9月30日における住民基本台帳に基づく15-19歳の転出数は1,147人。一方で、県外大学・短大進学者は3,439人となっている。これらのことから、大学進学時に住民票を移していない人がいることが推測される。

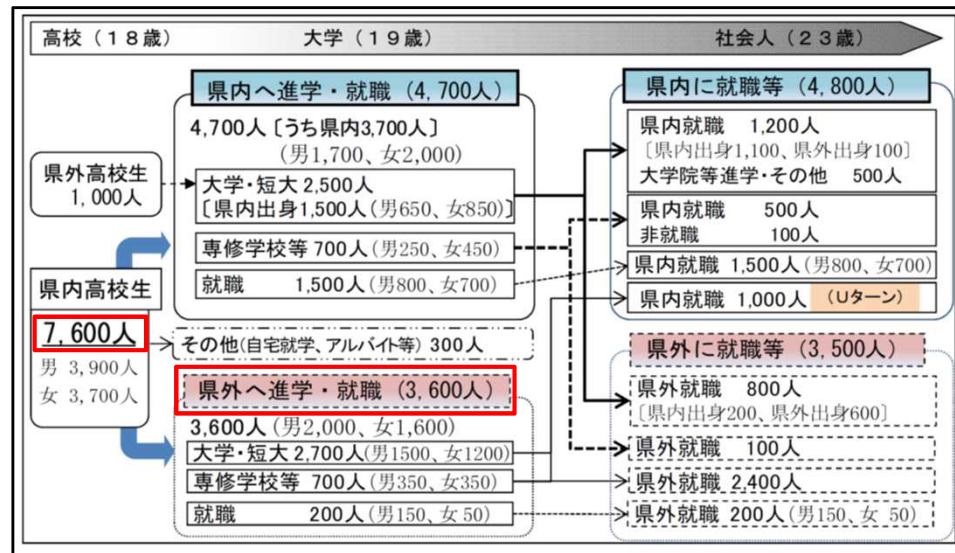
■ 県内大学生及び高校生の卒業後の就職地域（石川県）

| | 地域 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 高校 | 県内 | 93.5% | 93.6% | 94.5% | 93.9% | 94.2% | 93.9% | 93.5% |
| | 県外 | 6.5% | 6.4% | 5.5% | 6.1% | 5.8% | 6.1% | 6.5% |
| 大学 | 県内 | 40.2% | 41.0% | 40.6% | 37.2% | 40.5% | 38.2% | 39.1% |
| | 県外 | 59.8% | 59.0% | 59.4% | 62.8% | 59.5% | 61.8% | 60.9% |

県内大学生の約6割が県外へ就職

出典: いしかわ創生人口ビジョン 改訂版(石川県)

■ 県内大学生及び高校生の進学、就職状況（福井県）



高校卒業時点で、県内高校生の約5割が県外へ進学・就職

※福井県の人口の動向と将来見通し「ふくい創生・人口減少対策戦略」策定に向けた基礎データ(平成27年10月福井県)より/県進路実態調査結果の概要(H23)、県学校基本調査(H23)、福井県調べ(H27)、国勢調査を基に県が推計

出典: 福井県中小企業の人材確保に向けた提言10か条 中小企業人材確保対策検討会 報告書(平成31年3月)(福井商工会議所)

【参考】3大都市部の地域外就職率（東京都、大阪府、愛知県）

・東京都 28.3% ・大阪府 37.1% ・愛知県 36.5%

※調査対象は2022年3月卒業予定の大学生の2022年1月時点での就職先確定者【東京都 n=431、大阪府 n=116、愛知県 n=148】
 東京都は、首都圏地域(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)
 大阪府は、京阪神地域(京都府、大阪府、兵庫県)
 愛知県は、東海地域(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)

出典: 大学生の地域間移動に関するレポート2022 (リクルート 就職みらい研究所調べ)

Q. 共働きに対する子供の意見(寂しい等)、都市と地方部の子供に何か差があるのか？
 A. 都市部の調査になるが、(財)家計経済研究所の調査結果によると、子どもは母親の就労にポジティブな考えを持っており、寂しい思いをしていると回答したのは10.6%にとどまる。なお、北陸圏は三世帯同居率が高く、両親が共働きでも家に祖父母がいる家庭が比較的多いことから、都市部よりも帰宅後に1人で寂しいと感じることが少ないのではないかと推察される。

図表-4 母親が家事以外の仕事をするに対する子どもの考え (%)

| | 仕事をしている 66.5(63.7) | 仕事をしていない 32.8(36.3) |
|------------------------------------|--------------------|---------------------|
| お母さんは仕事をしているほうがいい(してほしいと思う) | 78.1(74.9) | 29.4(19.7) |
| 仕事をすることでお母さんが疲れている(疲れていると思う) | 78.1(78.2) | 88.2(88.3) |
| 仕事をすることでお母さんが生き生きしている(すと思う) | 49.4(51.3) | 32.7(26.0) |
| 自分がさびしい思いをしている(しなければならないと思う) | 10.6(12.3) | 34.6(34.6) |
| お母さんがうるさく言うことがなくなっていい(なくなるのでいいと思う) | 32.6(31.6) | 18.3(20.0) |
| 家事を手伝わなければならないので困る・いやだ | 15.8(16.2) | 33.3(32.8) |

※ () の数字は、1999年の調査の結果である。

出所) 財団法人家計経済研究所『現代核家族調査報告書』(2008)

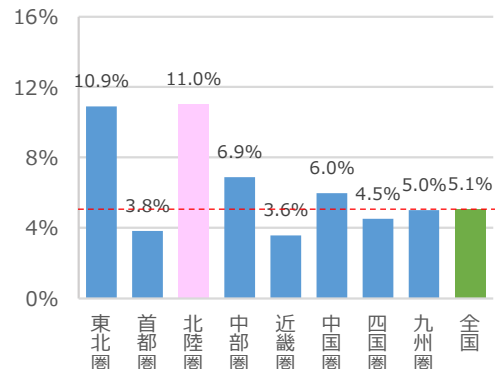
↳ 調査地域: 東京都、埼玉県、千葉県

出典: 母親の就業による子供への影響

盧 回男(日本女子大学現代女性キャリア研究所 客員研究員)

本編P9抜粋

●三世帯同居率 (圏域別)



出典: 令和元年国民生活基礎調査(厚生労働省)

まず、母親が仕事をしている場合、仕事をしているほうがいいと答えた子どもは78.1%とポジティブに考えている子どもが圧倒的に多く、2008年には1999年の調査時(74.9%)よりも3.2ポイント高くなった。半面、母親が仕事をしていない場合は、仕事をしてほしいと思う子どもは29.4%であるが、1999年の調査時(19.7%)よりは9.7ポイント多くなったことから母親が家事以外の仕事をするに対して子どもの意識の変化が見られる。しかし、仕事をする^{こと}で母親が疲れている(と思う)については、実際仕事をしている場合(78.1%)もしていない場合(88.2%)もその割合は高く、母親を心配している様子がうかがえる。母親の役割過重仮説を子どもの目からも確認できた結果であろう。この結果は1999年調査でも同様であった。

また、母親が仕事をする^{こと}で子ども自身はさびしい思いをしている(10.6%)とは思わず、家事を手伝う^{こと}で困る(15.8%)とも思っていない。しかし、母親が仕事をしていない子どもの仮想状況に対する意識はさびしい思いをしなければならないと思うが34.6%、家事を手伝わなければならないので困るが33.3%と実際の状況よりその割合は2~3倍高い。つまり、実際は母親の就労が子どもに悪影響を与えると考えている大人の心配とはうらはらに、子どもは母親の就労にポジティブな考えをしていると読み取れる結果であった。また、仮想状況と実際の状況での意識のギャップも見られたことで母親の就業での子どもへの影響をより詳細に検討することが重要であることも確認された。

意見： 過疎地域の医者不足について、県が医療機関や大学病院などを通じて医師を手配している例がある。
 A： 富山県では過疎地域の医師不足について、自治体と大学病院が連携して地域の病院に医師の派遣を行っている。
 石川県では金沢大学と連携し、医師不足地域の勤務を経験するキャリア形成プログラムを実施している。
 福井県では福井大学と若狭高浜病院が連携して、人材育成等の地域における医師確保に繋げる取組みを行っている。

● 富山大学附属病院による医師の派遣 (富山県南砺市、朝日町、上市町、新潟県糸魚川市)

・富山大学附属病院では、各地域の病院との間で、寄附講座を開設し、医師の派遣等を行う。

■ 富山大学附属病院と南砺市民病院の連携

目的

- 南砺地域で不足する診療分野の診療を富山大学附属病院の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献する。
- 地域医療を通して、将来に向けた地域包括ケアを担う医療人材を育成する。
- 富山大学附属病院と南砺市民病院の間で、病院機能の分化を踏まえた患者の紹介・逆紹介の円滑化を図る。



出典：南砺市民病院HP

■ 富山大学附属病院との寄附講座が開設され、地域医療を支援するサテライトセンターが設置されている病院

- ・南砺市民病院(富山県南砺市)【設置期間：平成30年度～令和3年度】
- ・あさひ総合病院(富山県朝日町)【設置期間：平成31年度～令和6年度】
- ・かみいち総合病院(富山県上市町)【設置期間：令和3年度～令和5年度】
- ・糸魚川総合病院(新潟県糸魚川市)【設置期間：平成31年度～令和6年度】

※寄附講座とは、大学や研究機関において、産学連携として行われる研究・教育活動の一種で、民間企業や業界団体などからの寄付金を財源に開設される講座を言う。

出典：富山大学概要(富山大学HP)

● 金沢大学医学類特別枠医師のキャリア形成プログラムについて

・県は、国の方針を踏まえつつ、「石川県地域医療支援協議会」における検討を踏まえ、キャリア形成プログラムを策定。

[金沢大学医学類特別枠医師のキャリア形成プログラム]

- 診療科ごとのプログラムは、金大病院の各診療科と県で協議し、個別に策定
- ・原則、3年目は能登北部で内科・総合診療科に従事
- ・少なくとも4年間は医師不足地域に勤務

出典：令和元年度 第2回石川県地域医療対策協議会配布資料(石川県)

● 福井大学医学系部門と若狭高浜病院の連携(福井県高浜町)

・福井大学医学系部門とJCHO若狭高浜病院、高浜町は、地域医療推進体制構築にかかる協働連携に関する協定を締結し、「たかはま地域医療イノベーションセンター」を若狭高浜病院内に設置。センターは、医学生や看護学生への地域医療教育、若狭高浜病院と地域の診療所との連携の推進、健康まちづくり活動の推進を軸に活動する。

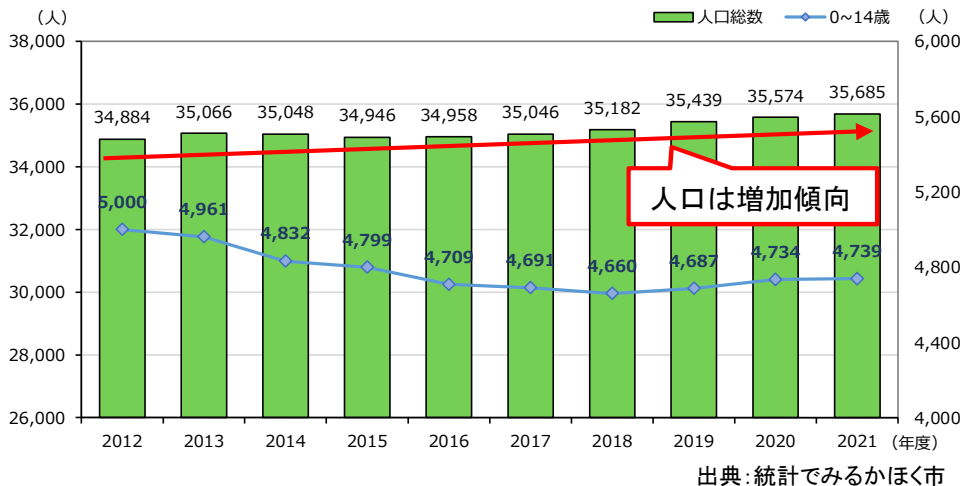


出典：福井大学HP

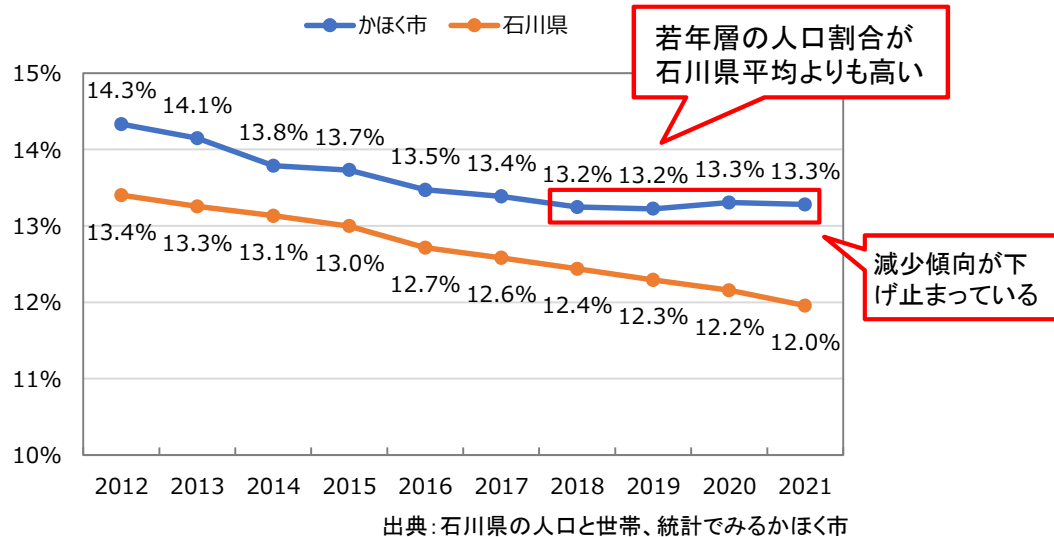
意見： 石川県かほく市も人口が増えており、子育て支援も良いと聞いている。

A： かほく市は、石川県の人口が減少傾向にあるのに対し、増加傾向を続けている。若年層の占める割合は減少傾向にあるものの、石川県平均よりも高く、また、下げ止まり傾向にある。

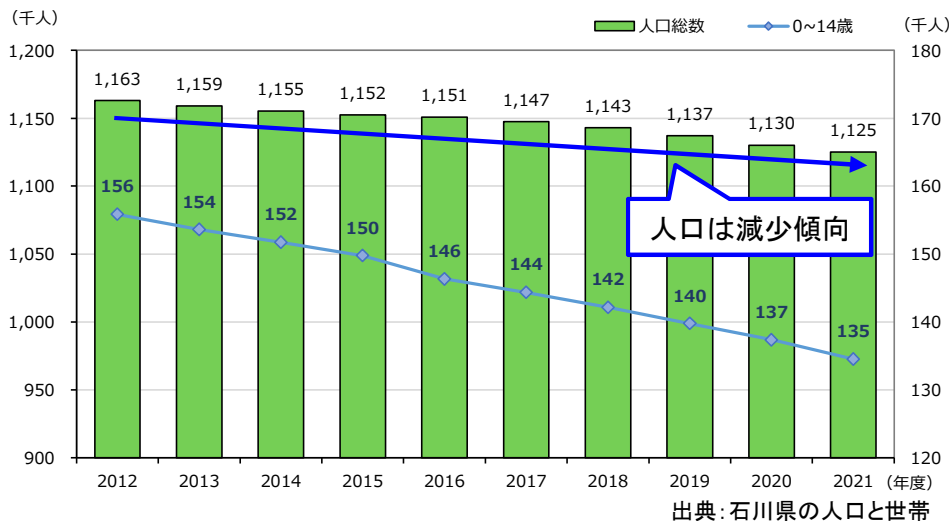
●石川県かほく市の人口の推移



●かほく市の全人口に占める若年層（0～14歳）の割合の推移



●石川県の人口の推移



●かほく市の子育て支援施策

■子育て世帯への補助制度の例

- 新生児1人につき、かほく市共通商品券3万円分を助成
- 18歳まで入院・通院の医療費を助成
- 妊産婦のタクシー代を助成
- ファミリーサポートセンター利用券の交付
- 不妊・不育症治療費助成
- チャイルドシート購入補助金

■かほく市ファミリーサポートセンター

- ・子育ての援助してほしい方、援助を行いたい方がファミリーサポートセンターへ登録し、地域で育児の助け合いを行う。



Q. 首都直下型地震・南海トラフ地震発生時に、代替港として北陸港湾が受け皿となる代替輸送量如何。

A.

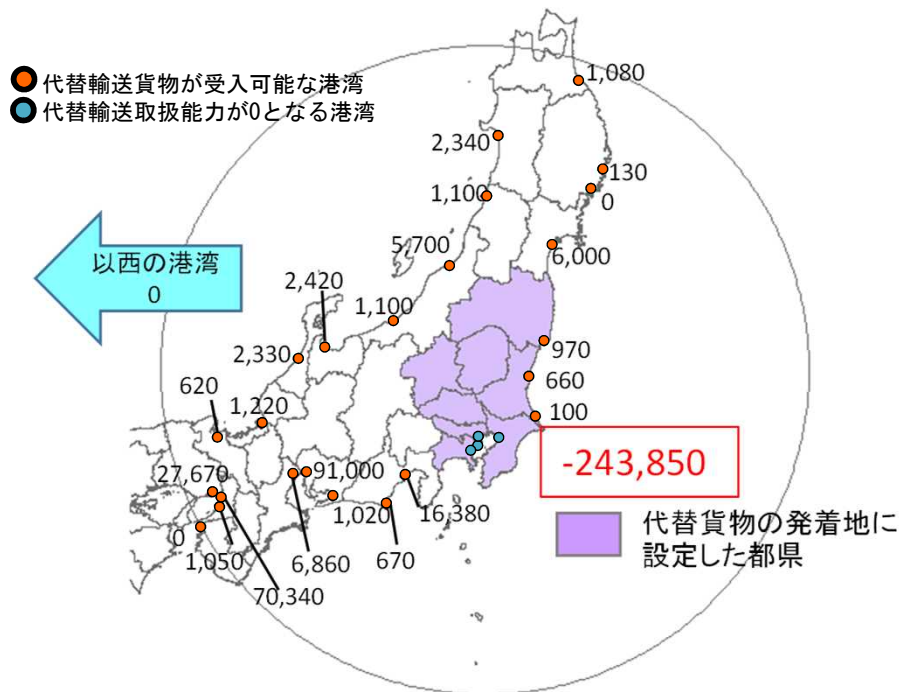
「北陸地域国際物流戦略チーム広域バックアップ専門部会※」にて検討しており、首都直下で東京港、横浜港等が被災した場合、約24万TEU/月が取り扱えなくなる貨物量と推計し、この量を北陸及び中部、東北の代替利用港湾へ一定の仮定のもと配分計算すると、新潟県を含む北陸港湾は約1.3万TEU/月と試算している。

更に、南海トラフにおいて神戸港、名古屋港等が被災した場合、約19万TEU/月が取り扱えなくなる貨物量と推計し、この量を北陸及び九州、中国、中部の代替利用港湾へ配分計算すると北陸港湾では0.8万TEU/月と試算している。

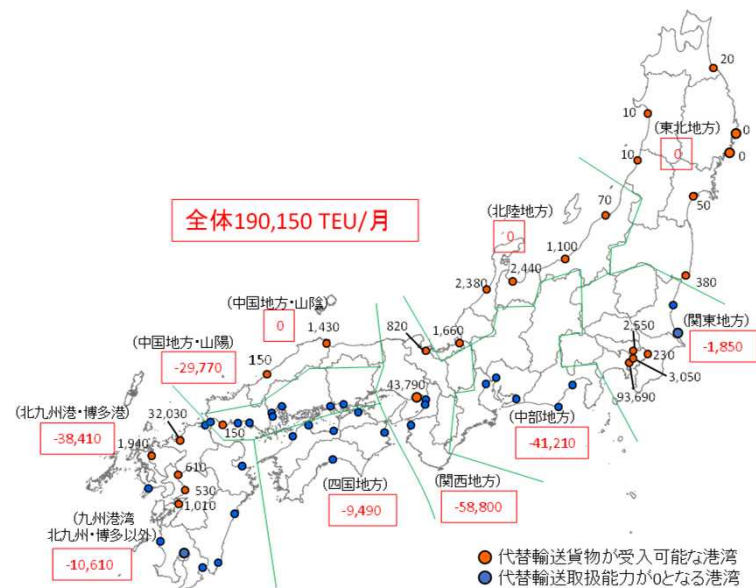
※広域バックアップ専門部会（令和3年度開催状況

<https://www.pa.hrr.mlit.go.jp/kouwanshinkou/butsuryu/katsudou/senmonbukai/0c4cdcbad60c/>

東日本大震災を受け、交通政策審議会港湾分科会防災部会等では、今後の発生が確実視されている首都圏直下地震や南海トラフ巨大地震等の際の最悪のシナリオを考慮したバックアップ体制確保の必要性が指摘された。北陸地域国際物流戦略チームでは本部会の下に専門部会を設置し、こうした事態に確実に対応する為のバックアップ体制確保の方策を検討することとする。



首都直下型地震における代替輸送量推計結果(単位:TEU/月)



南海トラフ地震における代替輸送量推計結果(単位:TEU/月)

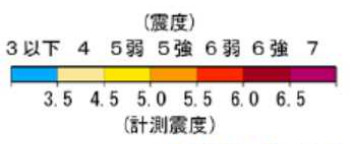
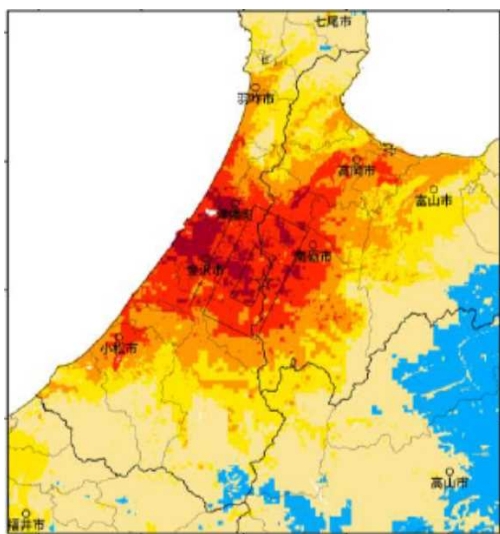
対象ページ:P23

意見：北陸にある代表的な活断層とその震度分布、各県の被害予測を出しておいた方がよい。

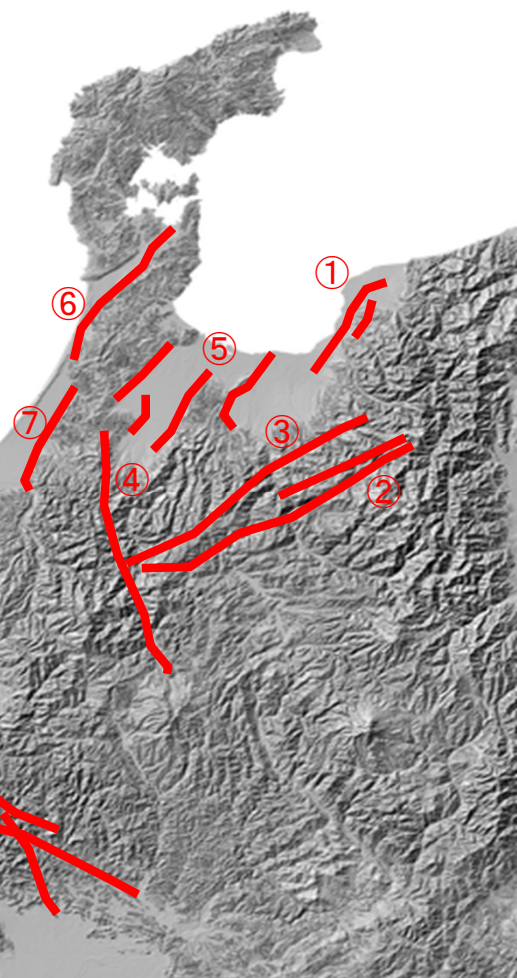
A：代表的な活断層と「⑦森本・富樫断層の想定震度分布」を以下に示す。

●北陸地方における主要活断層の分布

⑦森本・富樫断層 想定震度分布



地表震度分布



■北陸地方の主要活断層

| No. | 断層名 | マグニチュード | 地震発生確率(30年以内) |
|-----|-------------|---------|-----------------|
| ① | 魚津断層帯 | 7.3程度 | 0.4%以上 |
| ② | 跡津川断層帯 | 7.9程度 | ほぼ0% |
| ③ | 牛首断層帯 | 7.7程度 | ほぼ0% |
| ④ | 庄川断層帯 | 7.9程度 | ほぼ0% |
| ⑤ | 砺波平野・呉羽山断層帯 | 7.2程度 | ～6% |
| ⑥ | 邑知渦断層帯 | 7.6程度 | 2% |
| ⑦ | 森本・富樫断層帯 | 7.2程度 | 2%～8% |
| ⑧ | 福井平野東縁断層帯 | 7.6程度 | ～0.07% |
| ⑨ | 濃尾断層帯 | 7.4程度 | ほぼ0%、または不明 |
| ⑩ | 柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯 | 7.6程度 | 北部:ほぼ0%、中部南部:不明 |
| ⑪ | 野坂・集福寺断層帯 | 7.3程度 | ほぼ0% |
| ⑫ | 湖北山地断層帯 | 7.2程度 | ほぼ0% |

地震発生確率値の留意点

- 過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率値は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率値は変わることがあります。
- 活断層で起きる地震は、発生間隔が数千年程度と長いため、30年程度の間の地震発生確率値は大きな値とはなりません。例えば、兵庫県南部地震の発生直前の確率値を求めてみると0.02～8%でした。地震発生確率値が小さいようにみえても、決して地震が発生しないことを意味してはいません。

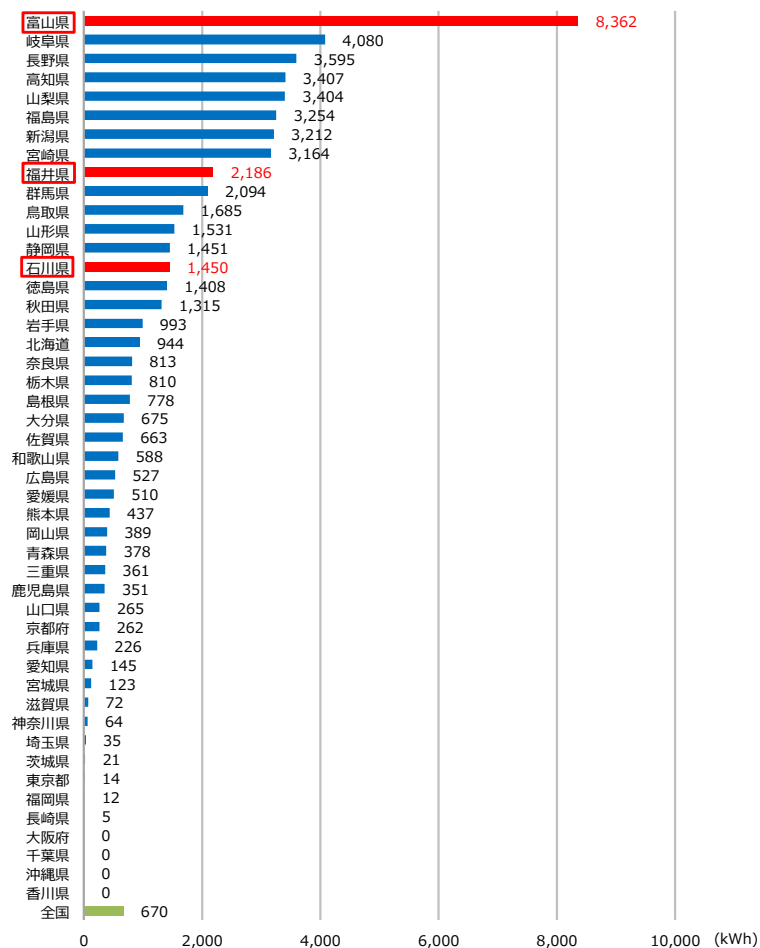
対象ページ:P28,29

意見： 都道府県別に総発電量を総人口で割った「1人あたりの発電量」で、供給する側なのか供給される側なのか可視化できるとよい。

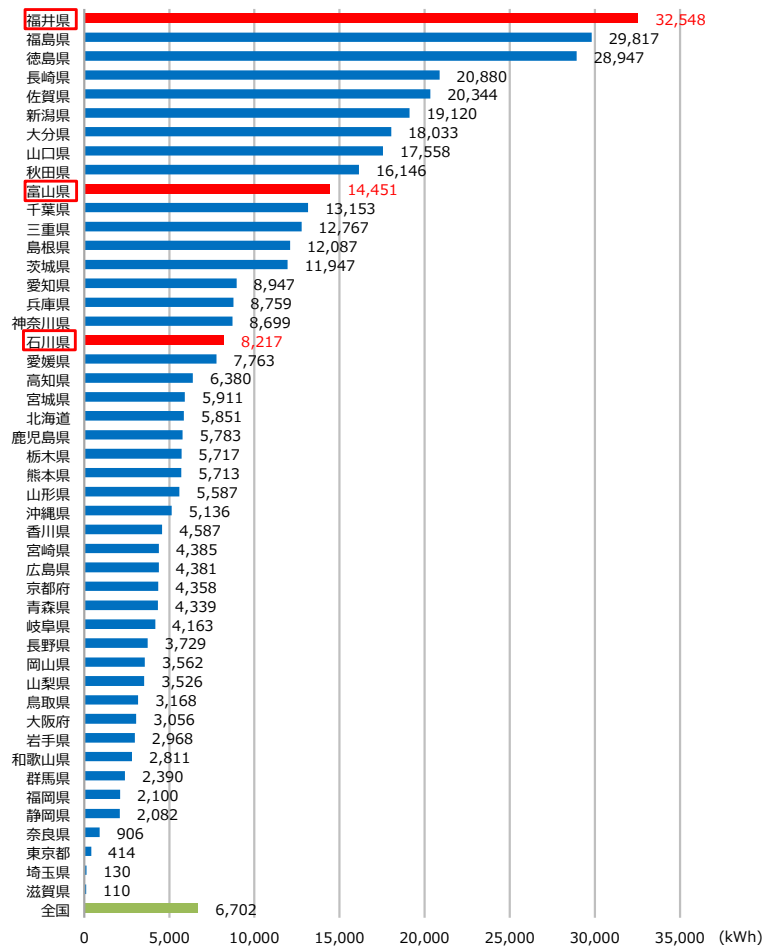
A. : 人口1人当たりの水力発電量は富山県が全国で最も多く、また、人口1人当たりの総発電量(原子力・火力を含む)は福井県が全国で最も多い。

● 都道府県別人口1人当たりの発電実績

■ 水力発電



■ 総発電量



※総発電量は水力・火力・原子力・新エネルギー(風力、太陽光、地熱)等の全ての発電量
出典:2020年度電力調査統計(資源エネルギー庁),人口推計(2020年)(総務省)

対象ページ:P29

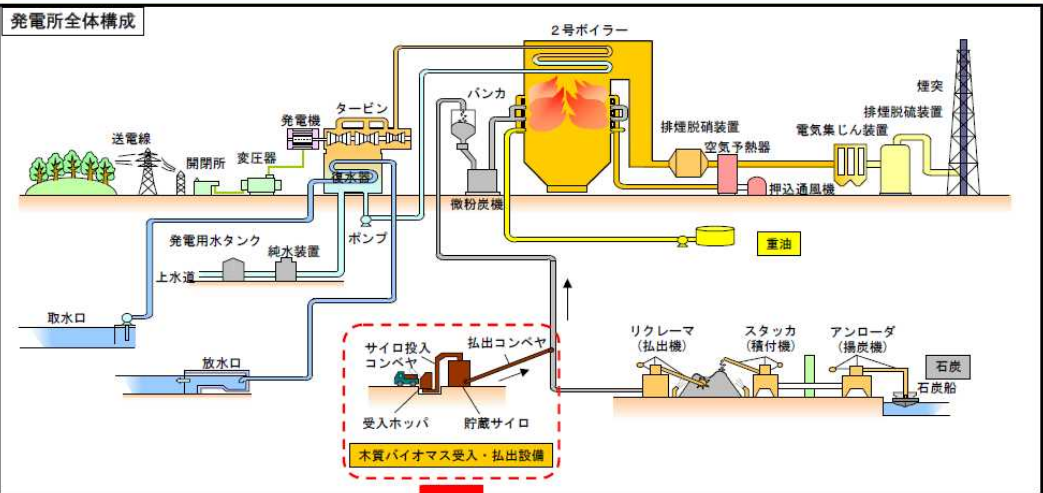
意見：カーボンニュートラルの取組みは他にも色々とやられていると思う。

A.：火力発電所において製材過程で発生する木くず等を燃焼させる木質バイオマス発電が行われているほか、民間事業者により間伐材等を燃焼させる小規模バイオマス発電も行われている。

また、中能登町では、汚泥や食品廃棄物からメタンガスを回収し、燃料等に利用する取り組みが行われている。

●七尾大田火力発電所 木質バイオマス混焼設備

○木質バイオマスを燃料として受け入れ、運炭コンベア上で石炭と混合し、微粉炭機で石炭とともに粉碎のうえ、バーナで燃焼します。



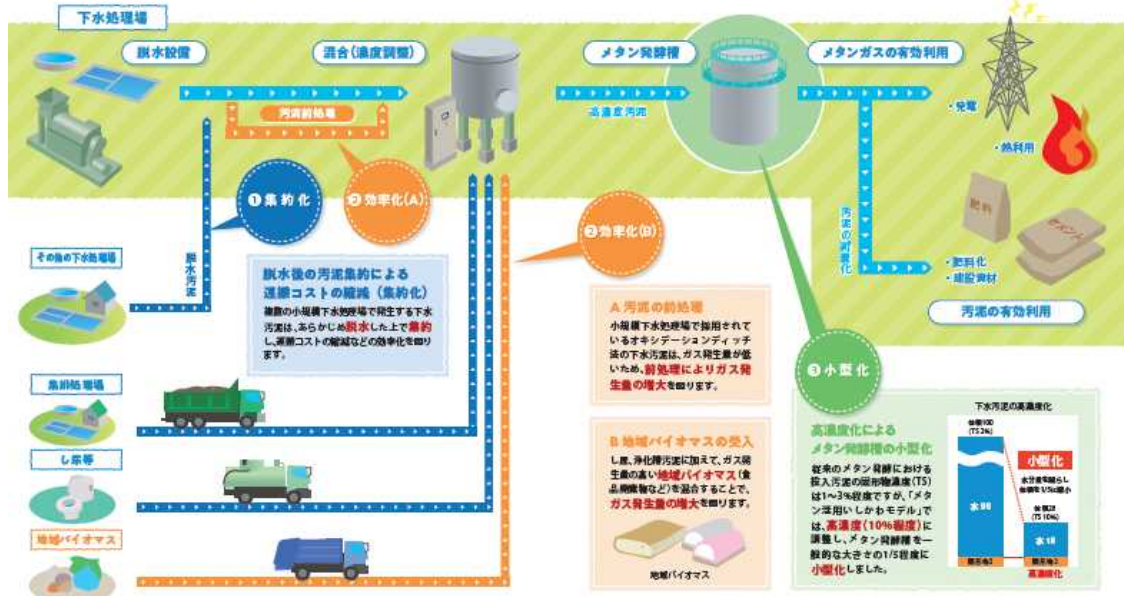
出典：北陸電力ホームページ

●メタン活用事例

「メタン活用いしかわモデル」って？

「メタン活用いしかわモデル」とは、複数の下水処理場から発生する脱水汚泥と、し尿や地域バイオマスを一方所の処理場に集約する小規模下水処理場向けの効率的で低コストな高濃度混合バイオメタン発酵システムです。

- #### メタン活用いしかわモデルの導入意義
- 下水汚泥などの集約による類似施設の集約化、維持管理費の低減
 - メタン発酵後の汚泥の有効利用(肥料化など)による資源の循環利用
 - 地域バイオマスから発生するメタンガスを再生可能エネルギーとして回収



導入事例1号機 中能登町 鹿島中部クリーンセンター



出典：石川県ホームページ

対象ページ:P32

意見：石川県では、「回転寿司のベルト」「消防車」も全国1位のシェアだったと思うので紹介してはどうか。

A：富山県ではガスコンロ用Siセンサー、耐圧ホース、ノートPC、スマートフォン等モバイル向け半導体用マイクロ端子、石川県では、大型観光バス、回転寿司コンベア機、ブルドーザー、福井県では、道路反射鏡、エンジン発電機、カーシート用生地などが国内シェア1位である。

●北陸各県における国内シェア1位の生産品

【富山県】

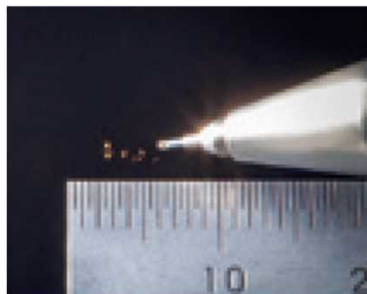
■ ガスコンロ用Siセンサー



■ 耐圧ホース



■ ノートPC、スマートフォン等モバイル向け半導体用マイクロ端子



出典：北陸のシェアトップ150(北陸経済連合会)

【福井県】

■ 道路反射鏡（カーブミラー）



■ エンジン発電機



■ カーシート用生地



出典：『実は福井』の技 福井ものづくり企業ガイドブック(福井県)

【石川県】

■ 大型観光バス



■ 回転寿司コンベア機



■ ブルドーザー（建設・鉱山機械）

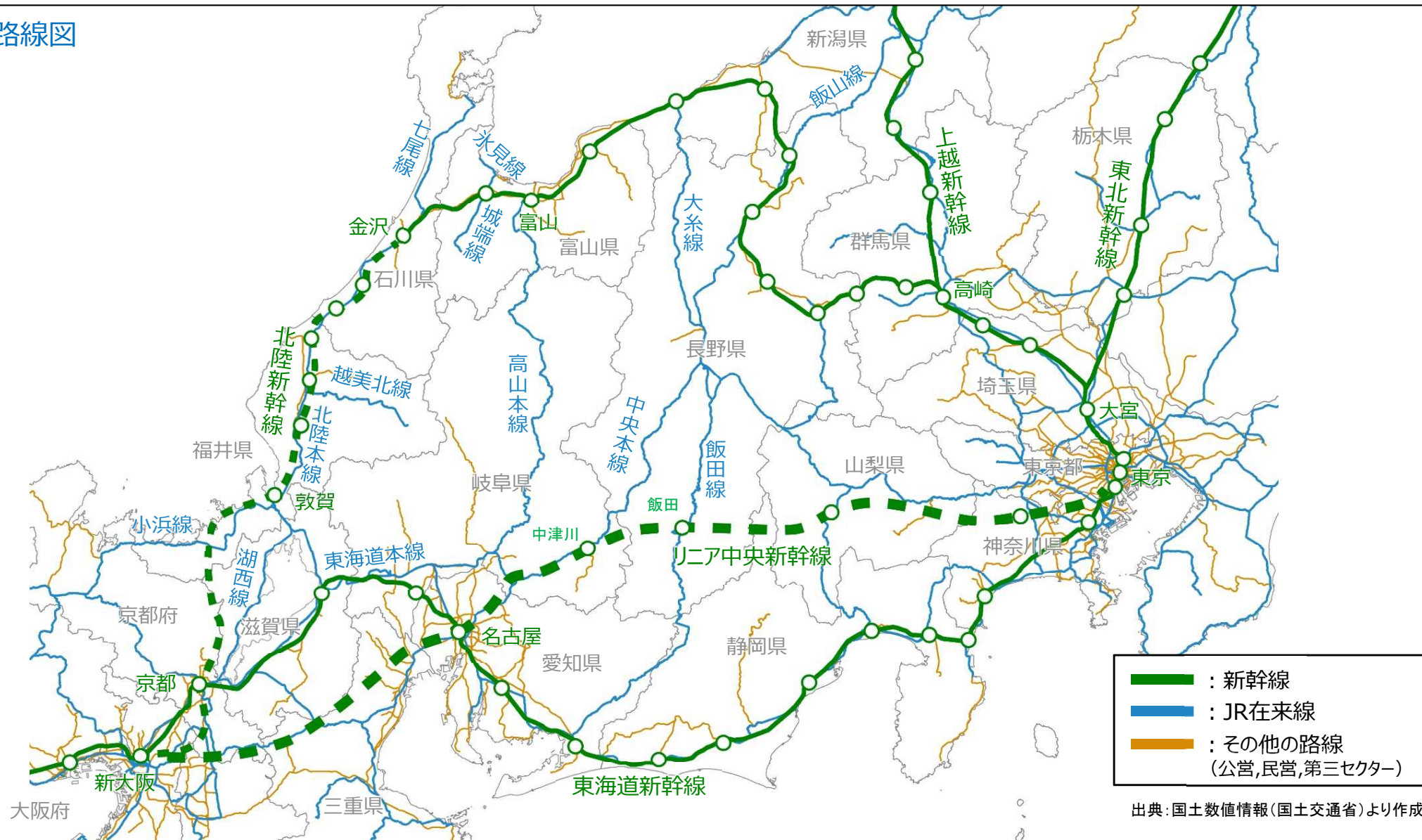


出典：北陸のシェアトップ150(北陸経済連合会)

対象ページ:P38

意見：北陸圏としてもリニア新幹線名古屋開業のメリット享受が重要であり、リニア中間駅や在来線も一緒に示したほうがよい。
A：北陸圏の鉄道路線は、北陸新幹線で首都圏、高山線で中部圏、北陸本線等で近畿圏と接続されている。その他、北陸圏のJR在来線は、城端線、氷見線、七尾線、越美北線、小浜線が運行している。

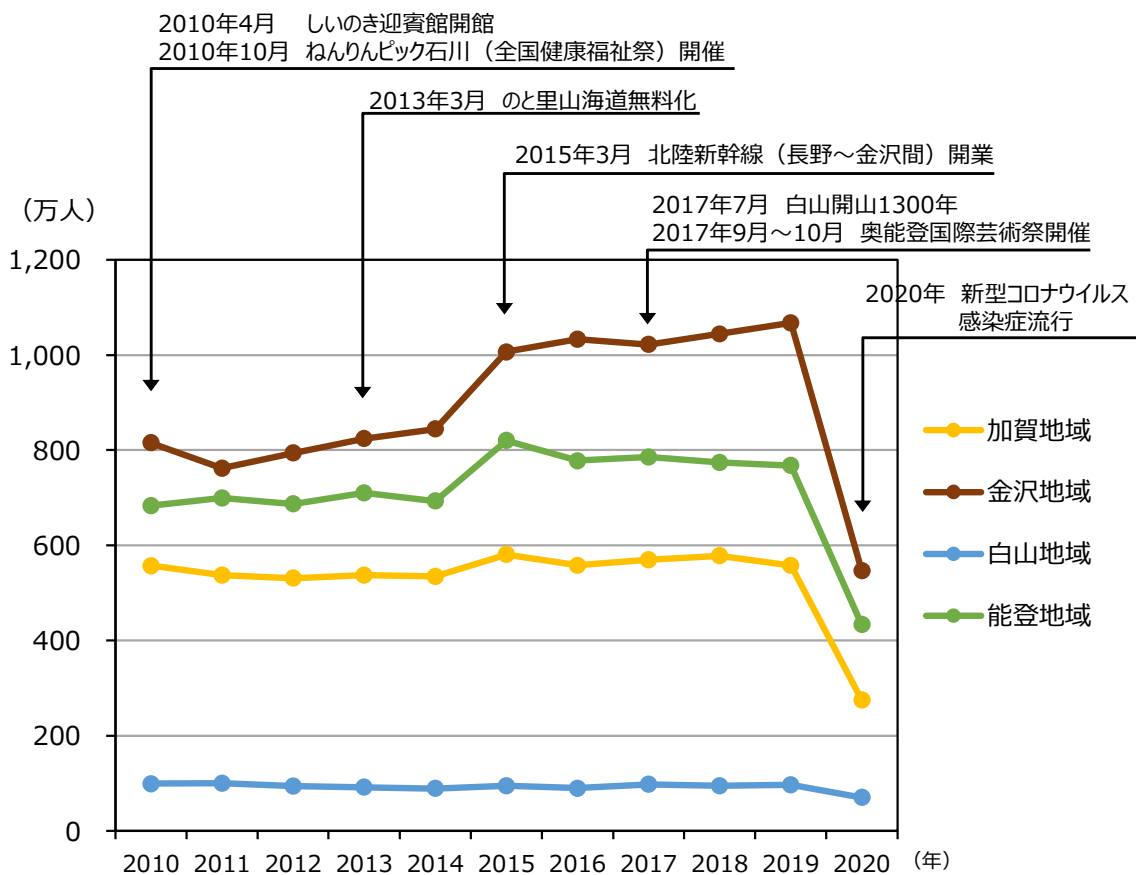
●鉄道路線図



対象ページ:P39

Q: 2015年の北陸新幹線開業では、金沢以外の都市(特に能登)には人が流れていないと聞いているがどうなのか。
 A: 北陸新幹線(長野～金沢間)が2015年に開業後、石川県内では「白山地域」を除き観光入込客数が増加傾向であるが、金沢地域の伸び率が最も高く、その他の地域よりも北陸新幹線開業効果の恩恵を受けているとみられる。

●石川県の地域別観光入込客数の推移



加賀地域：小松市、加賀市、能美市、川北町
 金沢地域：金沢市、かほく市、白山市(旧松任市、旧美川町)、野々市市、津幡町、内灘町
 白山地域：白山市(旧鶴来町、旧河内村、旧吉野谷村、旧鳥越村、旧尾口村、旧白峰村)
 能登地域：宝達志水町以北

出典：統計からみた石川県の観光

●北陸新幹線開業前後の観光入込客数の変化(石川県)

| | 加賀地域 | 金沢地域 | 白山地域 | 能登地域 |
|------------------------------|------|-------|------|------|
| 新幹線開業前 (2010～2014年平均) (a) | 539 | 808 | 95 | 695 |
| 新幹線開業後 (2015～2019年平均) (b) | 569 | 1,035 | 95 | 785 |
| 伸び率%(b/a) | 105% | 128% | 100% | 113% |

金沢地域の伸び率が最も高い